

■生ごみ排出量調査(祖師谷地区ごみ減量・リサイクル推進委員会)

1 調査目的

生ごみの排出量と排出理由を調査し、生ごみの減量方法の検討材料とする。

2 調査対象

祖師谷地区ごみ減量・リサイクル推進委員会のうち、任意の10世帯

調査対象世帯構成

① 構成人数

世帯	世帯数
1人世帯	2
2人世帯	2
3人世帯	3
4人世帯	1
5人世帯	2
合計	10
平均世帯人数	2.90人
区平均世帯人数(参考)	1.97人

② 男女構成 (単位 人)

男	10
女	16
不明	3
合計	29

③ 年齢構成 (単位 人)

0歳から10歳	0
11歳から20歳	3
21歳から30歳	4
31歳から40歳	3
41歳から50歳	4
51歳から60歳	3
61歳以上	12
合計	29
平均年齢	約50歳
区平均年齢(参考)	約41歳

3 調査内容

(1) 生ごみの排出量調査

[調査方法]

平成14年8月～9月の間の任意の14日間程度の生ごみの排出量を、排出理由(※「食べ残し」「調理くず」「賞味期限・腐敗等」)により分類し、それぞれ、三角コーナーに何杯分であるかで計測した。

※ **食べ残し**: 食卓などへ出したが、全部食することができずごみとなった量
調理くず: 調理過程で出てきた量(野菜の皮・魚の頭など)
賞味期限・腐敗等: 鮮度が落ちたり腐敗してカビが生えたもの、賞味期限・消費期限が過ぎたために生ごみとして排出した量

[調査結果]

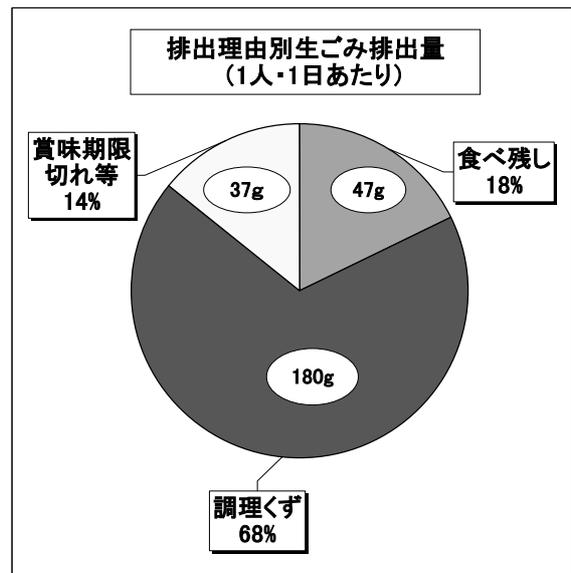
三角コーナー1杯分700gとして、1世帯及び1人あたり1日分の生ごみ排出量の平均を計測した。

●1世帯・1日あたりの排出量 (単位 g)

	食べ残し	調理くず	賞味期限切れ等	合計
平均	137	522	108	766

●1人・1日あたりの排出量 (単位 g)

	食べ残し	調理くず	賞味期限切れ等	合計
平均	47	180	37	264



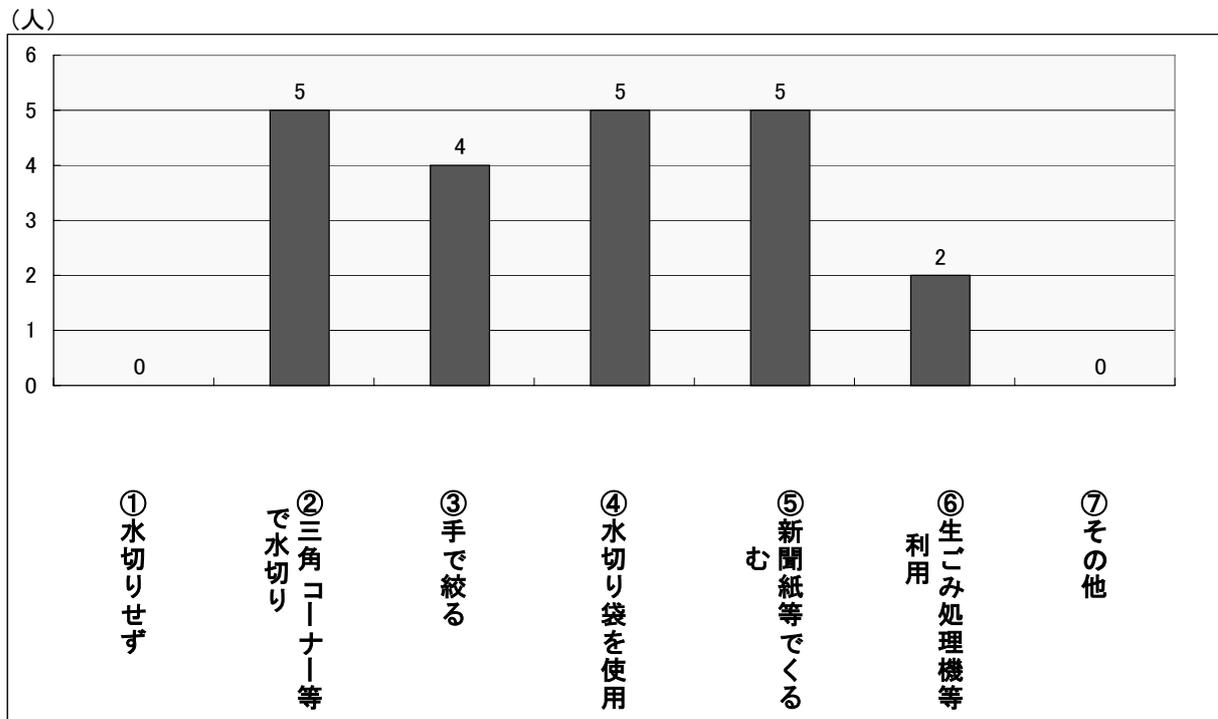
(2) 生ごみの排出状況調査

[調査方法]

生ごみ排出時の水切りについて処理方法を選択方式で調査した。(複数回答)

[調査結果]

	(人)
①特に水切りせず、そのままごみ袋に入れてごみに出している。	0
②三角コーナーまたは排水口の水受けで、ある程度水が切れてからごみに出している。	5
③手で絞って、水を切ってからごみを出している。	4
④水切り袋を使用し、水を切ってからごみに出している。	5
⑤新聞紙等でくるんでからごみに出している。	5
⑥庭に埋めたり、生ごみ処理機等を使っているので、生ごみは出さない。	2
⑦その他	0
合計	21



■生ごみ減量についてのアンケート調査（松沢地区ごみ減量・リサイクル推進委員会）

1 調査目的

家庭から排出される可燃ごみの約4割を占める生ごみの減量について、地区内住民の関心度等を調査し、今後の委員会における普及・啓発活動の活用材料とする。

2 調査方法等

（1）調査方法

- ① 地区内のスーパー「オオゼキ」の出入り口にて買い物客にアンケート記入調査を実施（平成14年7月29日（月））
- ② 「下高井戸サマーフェスティバル」のごみ減量・リサイクル推進委員会コーナーにて住民にアンケート記入調査を実施（平成14年8月24日（土））
- ③ 集合住宅が多い赤堤1丁目地域で単身世帯を対象に個別訪問調査を実施（平成14年9月10日（火））

（2）調査内容

- ① 生ごみ減量の関心度
- ② 生ごみ減量のために実行していること、実行できそうな方法
 - A 生ごみの水分を減らすための方法
 - B むだ・食べ残しを少なくする方法
 - C 生ごみのリサイクルの方法

3 調査結果

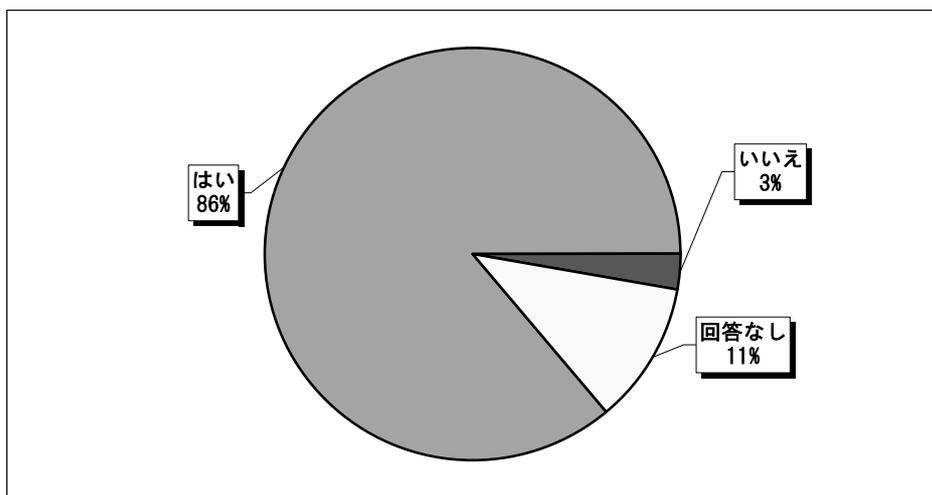
（1）アンケート回答者数

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計人数
5	13	29	30	23	53	24	9	2	188

（2）回答結果

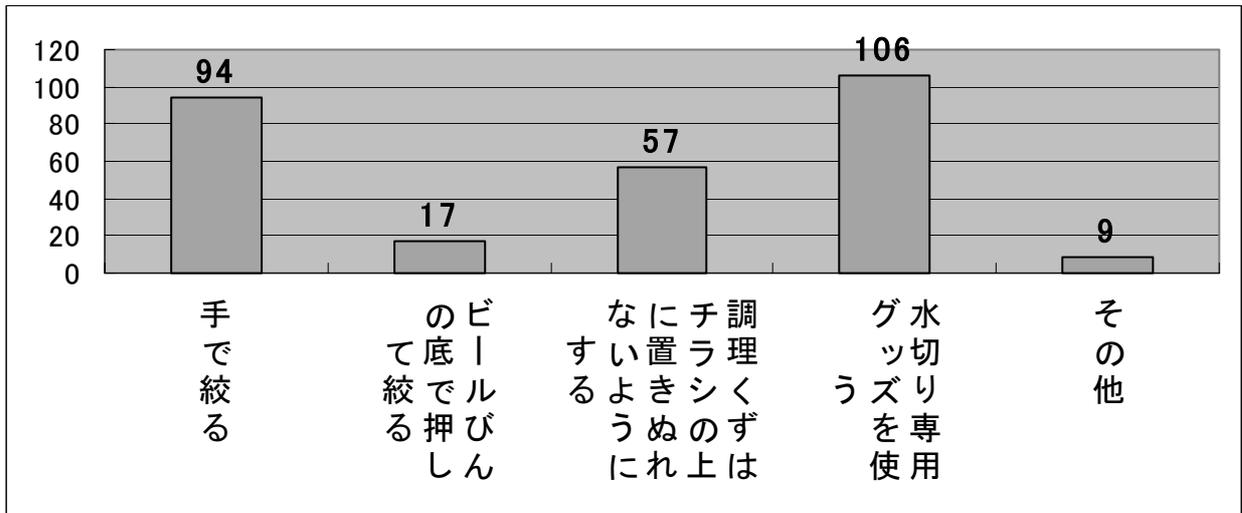
① 生ごみ減量の関心度

生ごみ減量について関心がありますか？	はい	162
	いいえ	5
	回答なし	21

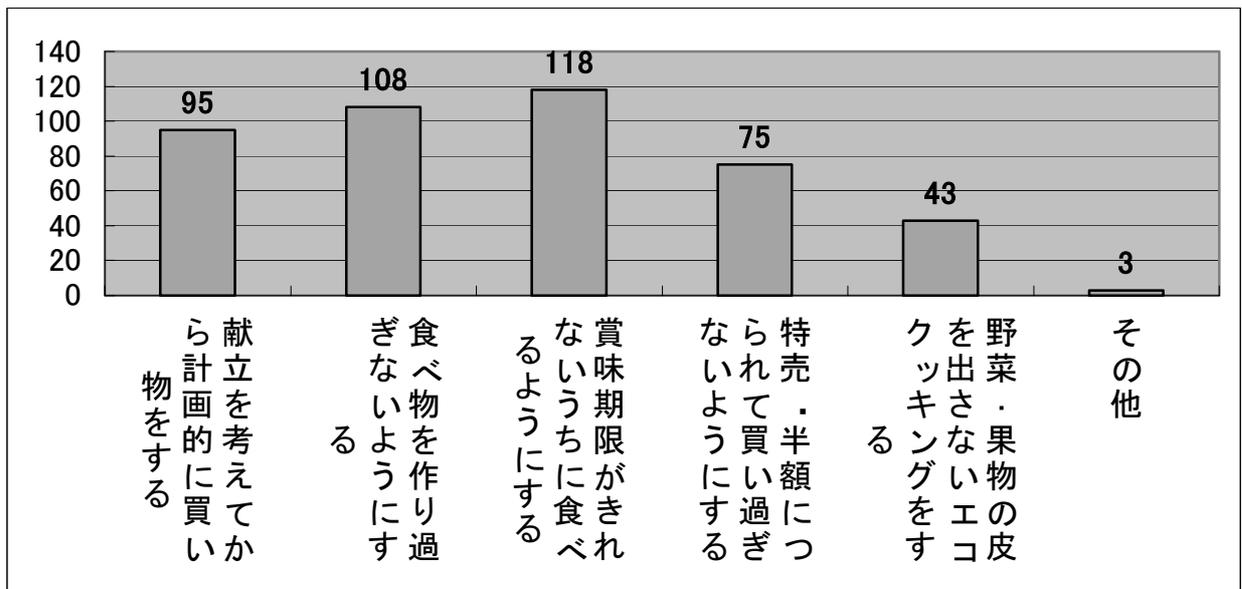


②生ごみ減量のために実行していること、実行できそうな方法（複数回答）

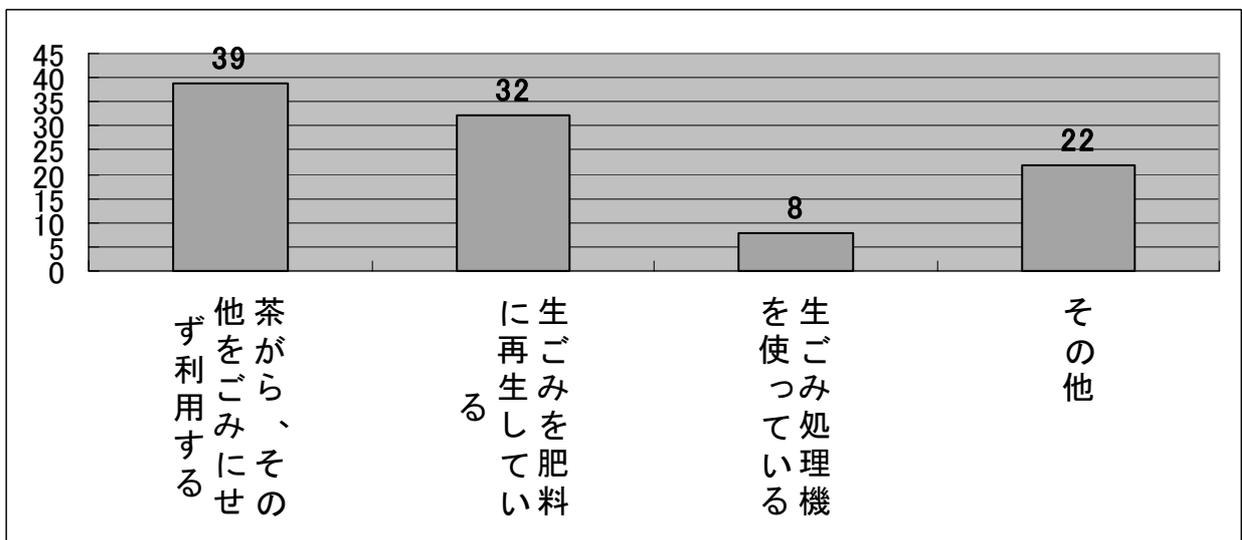
A 生ごみの水分を減らすために



B 食品のむだ、食べ残しを少なくするために



C 生ごみのリサイクルについて



生ごみ処理機に関するアンケート調査結果

(1) 調査概要

調査対象

平成9年度に実施した家庭用生ごみ処理機モニター世帯と、平成11年度から平成13年度に家庭用生ごみ処理機購入費補助金制度を利用して購入した世帯

調査方法

平成13年度11月7日に調査表を郵送し、11月28日到着分までを集計対象とした。

回収状況

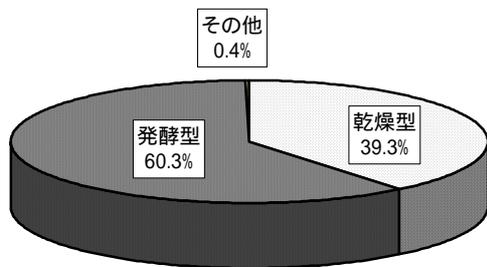
発送した347票のうち、252票を回収した。転送等で返送された3票を除く344票に対し、有効回収率は73.3%である。

(2) 調査結果

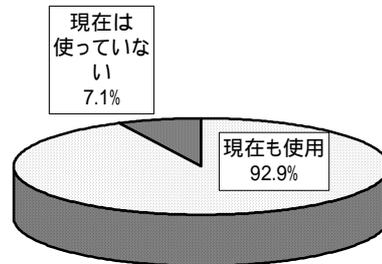
回答者の属性

年齢	30歳未満2.0%、30代13.9%、40代17.9%、50代34.5%、60代22.2%、70歳以上9.5%
性別	女性75.4%、男性21.8%
家族人数	1人3.6%、2人23.4%、3人25.4%、4人27.8%、5人14.7%、6人以上4.8%
住居形態	一戸建て82.9%、集合住宅14.7%

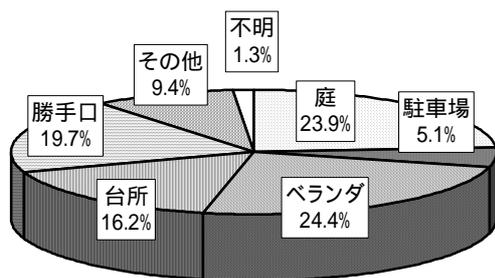
使用機種



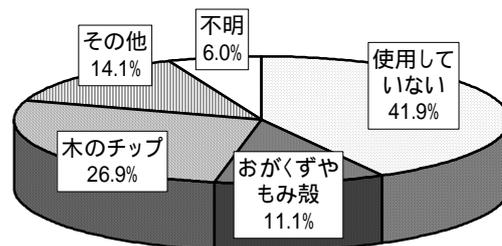
使用状況



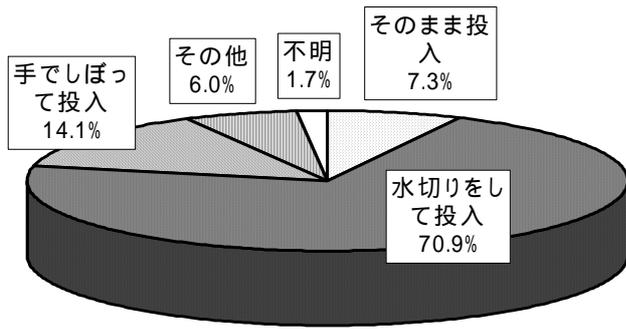
使用場所



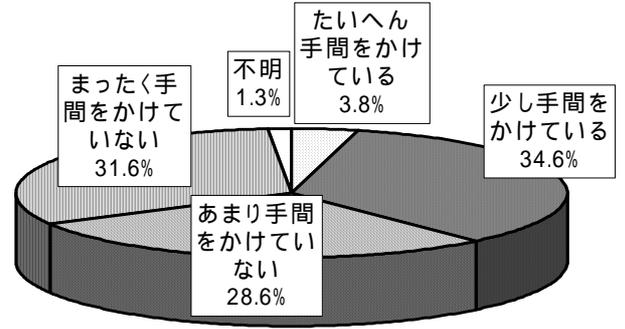
副資材の使用



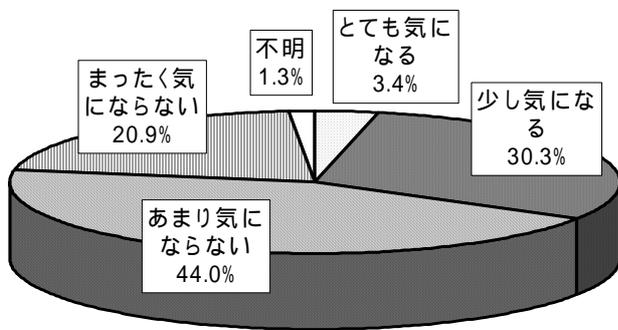
水切り



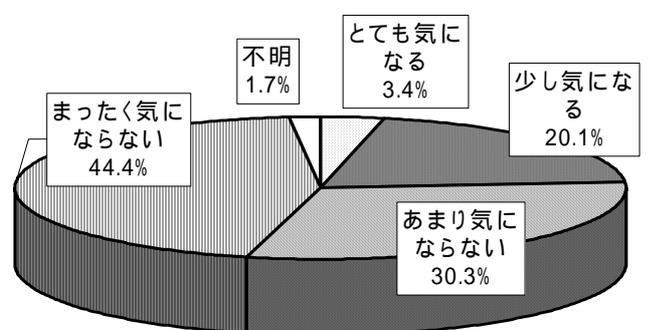
使用中の手間



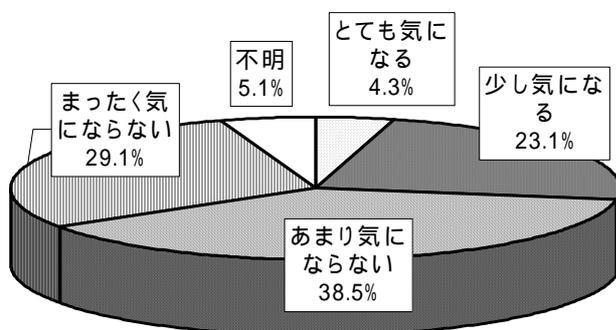
投入時の臭い



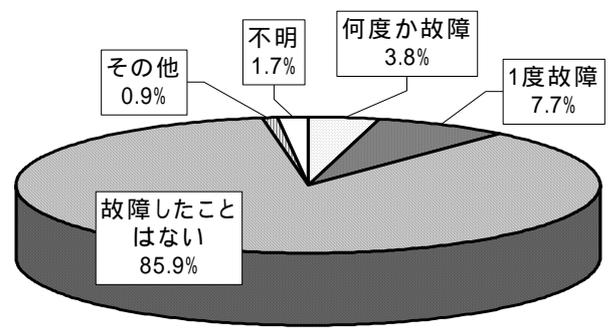
運転時の臭い



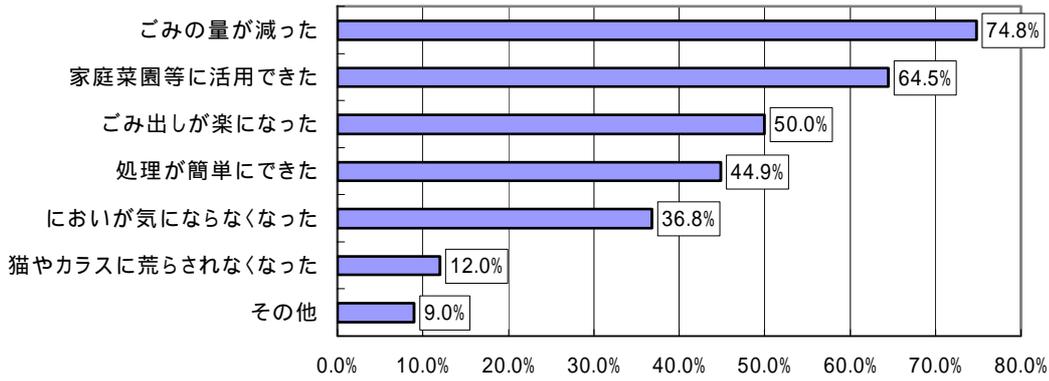
運転時の音



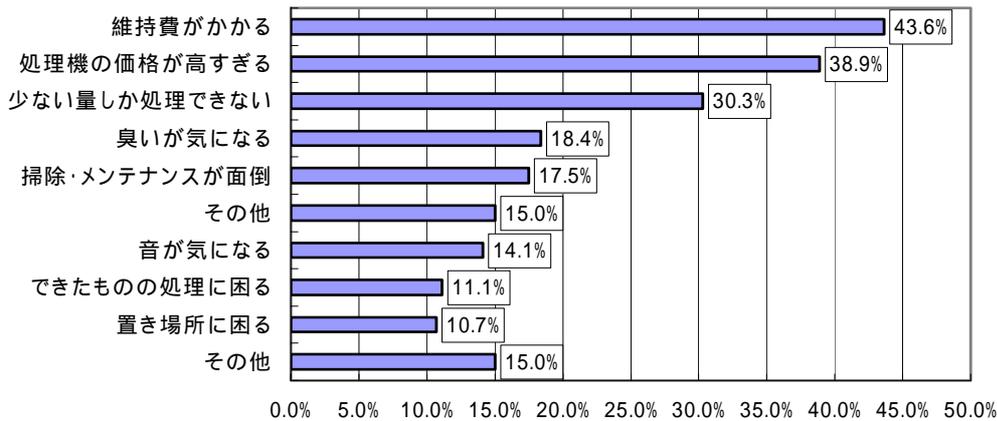
故障の有無



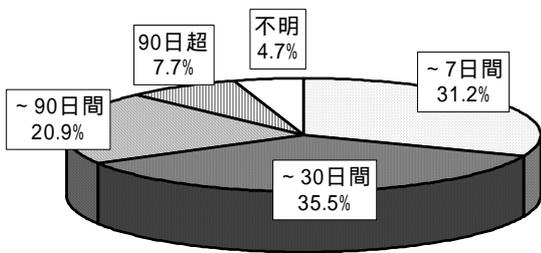
生ごみ処理機のメリット(複数回答)



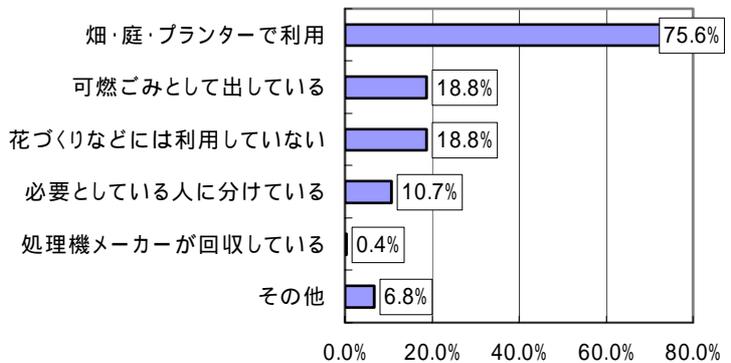
生ごみ処理機のデメリット



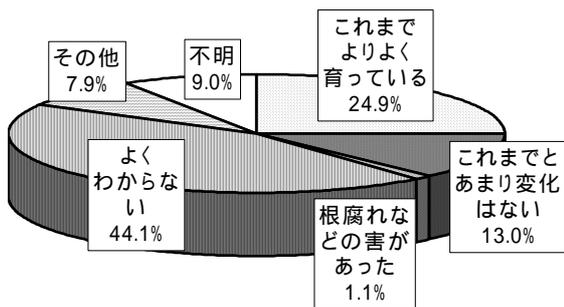
処理機の取り出し頻度



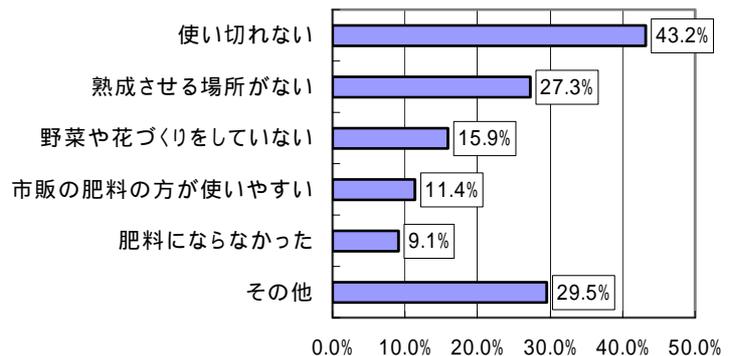
処理物の利用(複数回答)



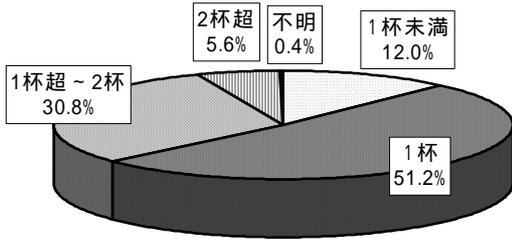
野菜・花の生育状況



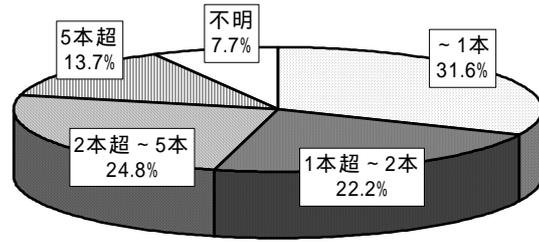
処理物を使用していない理由(複数回答)



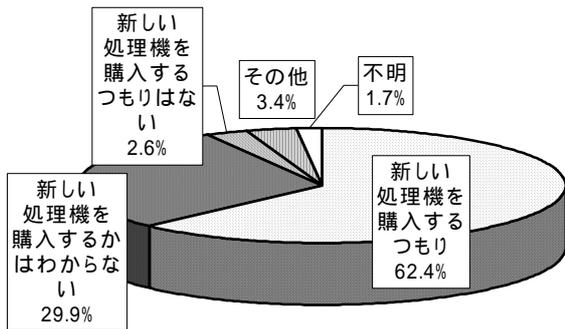
1日の生ごみの量
(三角コーナー何杯分で回答)



1日に取り出す処理物の量
(牛乳パック何本分で回答)



今後の購入意向



生ごみ処理機を使わなくなった理由

